



## 兵庫県高砂市

家族構成 夫 (30代) 妻 (30代) 息子 (1歳) 延床面積 105.67㎡ (31.96坪) 木造 在来工法 2階建て1階63.18㎡ 2階42.49㎡ 断熱性能 UA値 0.46W/㎡K C値 0.3c㎡/㎡ 太陽光発電 6.16kW 許容応力度計算耐震等級 3



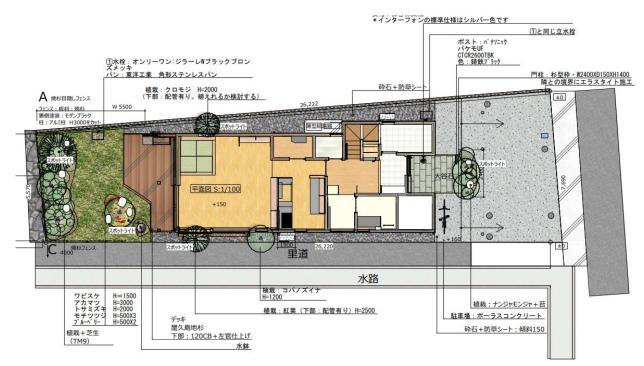
高砂の土地に根差し、家族が和やかに暮らし続けるための住まい。その構想は、施主の「和の落ち着きと現代の快適さをあわせ持つ家を、この地で実現したい」という願いから始まりました。

私たちが目指したのは、自然素材の美しさと和のしつらえを受け継ぎながら、現代の暮らしに寄り添う上質な和モダン空間です。計画地は間口の狭い細長敷地という制約を抱えていましたが、むしろその形状を活かし、庭・1階・2階が緩やかに連続する構成としました。

中心に据えたのは、『軽井沢の山荘』を思わせる16尺角の居間。ダイニング、畳コーナー、ソファ、書斎といった多様な居場所を抱え込み、南面に大開口を設けることで、光や風、庭の景色を住まいに引き込みました。

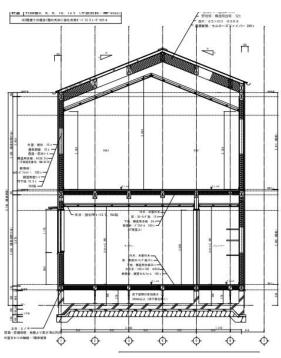
さらに奥へとつながる深い軒のデッキは、隣地に残る竜山石の石垣を借景に取り込み、土地の歴 史を暮らしの風景へと結び付けています。

居間から庭へ、庭からまちへと視線と心が広がり、2階とは小窓を介して気配が響き合う。そうした設えの積み重ねが、家族の時間をひとつに紡ぎ、日々の暮らしを豊かに彩ります。本計画が示すのは、単なる「家」ではなく、居間を中心に家族・まち・時間が交差する場としての住まい。そこに生まれるのは、暮らし手にとってかけがえのない「ひとところのいえ」です。



自然素材の風合いを生かし、庭や街とのつながりを取り込みながら、家族が末永く温かく暮らせる空間を目指しました。敷地は間口が狭く、奥に向かってさらに細まる特徴的な形状を持ちます。その制約を逆手にとり、庭・1階・2階を緩やかに連続させる構成としました。

中心に据えたのは、軽井沢の山荘に倣った 16尺角の居間。家族の動線や家事動線の先に 据えることで、日々の暮らしの中心として機 能させています。居間は下屋として計画し、 ダイニング、畳コーナー、ソファ、書斎に外 多様な居場所を内包。南の大開口を通じて外 部とつながり、緑と光に包まれます。外構で は、北側のエントランス前、居間の周囲、 デッキ近く、南庭に植栽を施し、四季の変化 を身近に感じられる居住空間としました。



居間の先にある軒の深いデッキスペースから、隣地との境界にある地域の歴史ある竜山石の石垣を木塀の下から借景している。



1階の居間と2階の子供室とを縦でつなぐ小窓を計画し、家族のコミュニケーションを深めるとともに、空調環境に配慮した。

